



## メンタルヘルス向上アクションプラン

# メンタルヘルス向上活動

各本部代表者で組織するメンタルヘルス向上推進連絡会を中心に、2025年いきいき職場割合60%をKPIに掲げ、人づくり(ストレスをためない個人)と職場づくり(チームの一員として互いに認め合う風土)を軸とするアクションプランに沿った活動を推進しています。

2023年は各職場におけるストレスチェックでリスクの高い結果が出た職場から、現状を聞き取り、一部ではメンタルヘルス改善意識調査票を用いた職場改善をサポート。その結果、改善傾向が見られました。2024年は社内の産業保健スタッフによるサポートに加え、各本部へのヒアリングでいきいき度向上活動を実施中です。また、全社的にも個人のいきいき度、職場のいきいき度ともに良化し、いきいき職場割合も39.0%へ改善しています。(※右表)

また、ウェルビーイング向上への取り組みとして、不調の早期発見・早期対応を目的に2018年から開設しているEAP※外部相談窓口をさらに活用してもらえるように周知率・利用率アップ活動を実施しています。

2023年は周知率72%で、特に製造工程に携わる従業員の周知率が40%と低かったため、周知率の低い従業員へ直接情報配信を開始。またメンタルヘルス教育の内容への盛り込みなどで、周知率が81%へ向上しました。さらに、管理監督者へのマネジメントサポートツールとしての活用も推進していきます。

※EAP(Employee Assistance Program) : メンタルヘルスが不調な従業員のケアを目的とした従業員支援プログラム

<2024年ストレスチェック結果>

	22	23	24	全国
個人のいきいき度 (ワーク・エンゲージメント)	2.48	2.45	2.47	2.52
職場のいきいき度 (職場の一体感)	2.80	2.83	2.86	2.66
いきいき職場割合(%)	38.7	34.2	39.0	—

注 職業性簡易ストレス調査票(短縮80項目版)を使用  
いきいき職場とは、個人のいきいき度・職場のいきいき度のどちらも全国平均より高い職場